

昨年準決PK負けの悪夢から小野救った

後半20分、決勝点となる先制ゴールを決めた浜松開誠館の小野（手前）



開誠館

V 2年ぶり3度目

浜松開誠館がリベンジを果たした。初戦から無失点で勝ち上がった丸塚と決勝で対戦した浜松開誠館は後半20分、MF小野穰暉（2年）のゴールで先制すると、同ロスタイムにはMF黒柳駿（2年）がこぼれ球を押し込み、2-0で快勝した。3連覇を狙った昨年は準決勝でPK負けして涙をのんだが、今年にはチーム一丸で雪辱、2年ぶり3度目の優勝を飾った。MVPにはMF黒柳が選ばれた。

一丸での勝利
後半20分、開誠館に待望の先制点が入る。右サイドからのクロスにFW小野穰暉（2年）が右足ボレーシュート。「時間がなかったのかどうか先制したかった」ボール

がゴールネットに突き刺さるとヒーローは雄たけびを上げ、イレブンは全身で喜びを表した。昨年準決勝でPK戦の末、天竜に3連覇を阻まれた。この日も前半から攻勢に出ながら、準決勝まで3試合12得点の攻撃陣がゴールを奪えない。残り時間は5分。また、延長、PK戦か。ベンチ、選手たちに悪夢がよぎる中で一発が、常勝軍団を完全によみがえらせた。後半ロスタイムにも黒柳駿（2年）が追加点を挙げ、無失点で決勝に進んだ丸塚を退けた。青島文明監督（40）は「今年のチームに特別な選手はいない」と話す。そのため、選手全員のま

▽準決勝

浜松開誠館	5-1	舘塚
丸塚	1-0	浜松東部
▽3位決定戦		
舘塚	1-0	浜松東部
▽5-8位決定戦		
江陽	2-0	静大付浜松
東陽	1-0	浜松西高中
▽9-10位決定戦		
神久呂	4-1	笠井
浜松北部	1-1	湖東

【最終順位】①浜松開誠館②丸塚③舘塚④浜松東部⑤東陽⑥江南⑦浜松西高中⑧静大付浜松⑨神久呂⑩浜松北部⑪湖東⑫笠井（5-6位、7-8位、9-10位、11-12位は抽選）

目標の県制覇へ4・26開幕 西部大会優勝だ!!

2年ぶり3度目の優勝を飾った浜松開誠館の選手たち



退場者が出て力尽きた...
【丸塚】堅守速攻で7年ぶりの優勝を狙ったが、あと一歩届かなかった。前線から激しいプレッシャー

1をかけた前半は0-0とプラン通りだったが後半、退場者が出たことで力尽きた。押谷憲次主将（2年）は「1人抜けても力を合わせてやろうって話したんだけど...」とガツクリ。だが、準決勝までの4試合を無失点。名倉久博監督（39）は「守備はメドが立った。あとは中盤のつなぎ」と手応えを感じていた。

浜松開誠館4強

2回戦と準々決勝が行われ、4強が出そろった。1回戦でV候補の東海大翔洋を撃破し、意気上がる江南中（西部9位）と対戦した浜松開誠館はM県トラック協会会長杯 F小野穰暉（2年）が前

U-14県新人サッカー大会

第2日 半3分と後半10分に1点ずつ奪う活躍。2-0で快勝して4強入りを決め

（17日・磐田ゆめりあほか）た。そのほか静岡学園中、浜松東部中、常葉学園橋中がそれぞれベスト4入りした。準決勝、決勝は31日に清水総合グラウンドで行われる。

小野弾で弾み

2回戦は葉梨中に貫録勝ちした浜松開誠館だったが、準々決勝の相手は不気味だった。江南中は「初戦でV候補の東海大翔洋を破って勝ち上がったきたチーム。それだけに怖かったです」と門奈俊邦コーチ（35）は振り返る。だが、フタを開けてみればスピードも運動量も相手を圧倒した。開始3分、1、2回戦で3得点しているMF小野が先制ゴールをすると勢いが加速した。

後半10分には、開誠館の「ハンカチ王子」斉藤優貴のCKをゴール前の小野が押し込み、2点目

▽準々決勝

浜松開誠館	2	0	江
静岡学園	7	0	富
東部	1	0	金
常葉橋	1	0	東
			陽
			谷
			岡
			南

を挙げた。試合終了まで主導権を握り、2-0の完封勝ちで4強入りだ。準決勝の相手は静岡学園でこの日は、御殿場富士岡中を圧倒（7-0）した。「さすがに去年の夏、日本一になっただけのこととはある。素晴らしいチーム」と門奈コーチは警戒を強めたが、イレブンの士気は上がっている。小学生時代に一緒にプレーしたり、顔見知りの選手も多く「静岡学園には絶対勝つ」と口をそろえた。



▲▲浜松開誠館のMF小野⑤はこの日も2試合で3得点の大活躍だ